

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名		芸術・芸能支援育成			所管	文化産業観光部 文化振興課			
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	平成 1 7 年度	[終了予定]	- 年度			
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	アートアドバイザー会議設置要綱、台東区芸術文化支援制度実施要綱					
	事業対象	若手及び先駆的な芸術文化活動を行う芸術家や芸術団体、区民							
	事業目的	文化政策への芸術家等の参画及び若手や先駆的な芸術文化活動を行う芸術家等の支援・育成を行い、台東区の文化力のさらなる向上を図る。							
	事業内容	分野の異なる芸術家や専門家等で構成される「台東区アートアドバイザー会議」を設置し、台東区が行う芸術支援の方向性などを検討していく。また、台東区の文化力のさらなる向上を図るため、先駆的な芸術文化活動に対する支援を行う芸術文化支援制度を実施し、芸術家等の支援及び育成を行う。							
	委託の有無	一部委託	委託内容	台東区芸術文化支援制度PR用チラシ・ポスターデザイン委託					
	補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度		
	活動指標	芸術文化企画支援	件	-	4	6	5		
	成果指標	(芸術文化関連施設情報WEBページによる予約件数)	件	-	-	-	-		
	決算額	(単位：千円)			4,156	3,808	4,115		
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			10,413	8,948	9,777		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			436	387	460		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			3,720	3,422	3,656		
		総経費			14,569	12,757	13,893		
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
一般財源(区負担額)			14,569	12,757	13,893				
前回評価から改善した事項	芸術家への発表の機会提供と制度自体のさらなるPRを図ることを目的として、支援制度のチラシ・ポスターを若手の駆け出しのデザイナーへ依頼するデザインコンペティションを導入した。また、アートアドバイザーには支援制度の実施だけでなく、区の文化施策に関する幅広いご意見をいただく時間を取るよう努めた。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	区の文化力のさらなる向上のためには、芸術家等による新たな芸術文化活動への支援は極めて重要であり、本事業はその中心となる事業である。また新規の支援として、区内の芸術文化関連施設の情報を集約・発信することで、芸術家等に対し、区内での発表や練習等を行う機会をさらに提供していく必要がある。						
	効率性	3	芸術文化支援制度は、平成19年度実施したモデル事業およびアートアドバイザー会議での検討結果を踏まえた制度であり、企画内容だけでなく、収支計画・実績についても精査することで効率的な実施に努めている。						
	手段の適切性	3	芸術文化支援制度は、台東区アートアドバイザーの専門的見地に基づいた助言のもとに実施されており、芸術家への育成・支援について十分な体制を整えている。他の所管事業に類似事業はなく、手段は適切である。						
目的達成度	3	支援制度では26年度に、演劇・音楽・美術・映像・パフォーマンス・人形劇など幅広いジャンルの企画を支援・実施した。区民に対して、新たな芸術文化に触れる機会の提供を行うことで、区の文化振興に寄与していると考えている。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性			
新たな芸術文化活動への支援は、本区の文化力をさらに向上させるものであり、その中心となる芸術文化支援制度を一層充実させ実施していく。また、新規の支援として、区内にある芸術文化関連施設の集約・WEBページ開設による発信を行うことで、芸術家等に対して、区内での発表や練習等を行う機会をさらに提供していく必要がある。						拡大			
						拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			